

## 2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330321063	保育内容(表現・演劇) Childcare Contents (Theatrical Expression)	山田悠莉			2	必修	2前期

## 科目の概要

領域「表現」では、感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにすることを培うことを目指している(DP2・3)。この科目では、領域「表現」のねらいと内容を実践的に学ぶとともに、身体的表現、言語的表現である「演劇」に焦点をあてて、幼稚園教諭・保育士に必要な豊かな「表現」の技術と実践的方法を身に付ける。

学修内容	到達目標
① 領域「表現」についての理解を深め、身体的表現・言語的表現(演劇)を通して幼児が表現することの意義を知る。 ② 幼児が主体的かつ自由に表現を楽しむための環境設定を考える。 ③ イメージを身体で表現したり、役になり切って演じたり、表現の仕方を工夫したりする中で表現することの楽しさを体感する。 ④ 幼稚園教諭・保育士に必要な表現の技術と方法を取得し、活用できる力を身に付ける。 ⑤ 他者と密にコミュニケーションを取り合い、皆で創造する難しさや喜びを体感しながら、目標達成に向けて協力する。	① 領域「表現」についての理解を深め、演劇を通して幼児が表現することの意義を知ることができる。 ② 幼稚園教諭・保育士として幼児が主体的かつ自由に表現を楽しむための環境を整えられるようになる。 ③ イメージを身体で表現したり、役になり切って演じたり、表現の仕方を工夫したりする中で表現することの楽しさを体感することができる。 ④ 幼稚園教諭・保育士に必要な表現の技術と方法を取得し、実演できる。 ⑤ 他者と密にコミュニケーションを取り合い、皆で創造する難しさや喜びを体感しながら、目標達成に向けて協力することができる。

## 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

## 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	・自ら計画して準備や練習を行うことができる。
	働きかけ力	・グループにおける自身の役割を自覚し、他者に対して積極的に助言や呼びかけを行うことができる。
	実行力	・目標を達成するために、計画に沿って確実に行動することができる。
考え抜く力	課題発見力	・自身の、またグループ全体の現状を的確に把握し、課題を明らかにすることができる。
	計画力	
	創造力	・グループ全員で思いやイメージを共有し、それが相手に伝わるように表現の工夫をすることができる。
チームで働く力	発信力	・知識・技術を活用し、相手に向けて意図的に表現することができる。
	傾聴力	・他者の多様な表現を受け止め、認めることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	・コミュニケーションを密に取り合いグループ全体の状況把握をしながら、全員で協力し合える環境づくりに努めることができる。
	規律性	・設けた期限を必ず守ることができる。
	ストレスコントロール力	

## テキスト及び参考文献

参考文献：「幼稚園教育要領解説 平成30年」文部科学省、その他、課題に応じて次第指示する。

## 他科目との関連、資格との関連

「保育内容(表現・演劇)」は、専門分野の保育の内容・方法に関する科目の一部であり、「保育内容(表現A)」「保育内容(言葉)」「保育内容(健康)」で獲得した保育内容の領域に対する考え方や他の科目で培った知識・技能を広く活用する。また、「保育内容(表現・演劇)」は、その後に履修する「保育内容(表現B)」「保育内容(環境)」等の基盤となる科目である。なお、本科目は、幼稚園教諭一種免許及び保育士資格と関連している。

学修上の助言	受講生とのルール
・「こども音楽Ⅰ」及び「こども音楽Ⅱ」を単位認定されていることが望ましい。	・毎時、運動できる服装で参加をしてください。服装の不備が続き活動に支障が出る場合、出席とみなさない場合があります。体育館シューズ等は必要ありません。 ・計画に沿って進めていけるように、授業での準備・練習の時間を大切にしましょう。 ・仲間と協力して進める活動があるため、欠席をしないようにしましょう。やむを得ず練習や発表を欠席する場合には、その旨をできるだけ早くグループの仲間に伝える、代役を立てるなど、配慮、工夫をしましょう。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト		0	①			
					②			
					③			
					④			
					⑤			
		レポート		30	①		✓	・授業内で提出する、全レポート課題の記述内容から、知識や理解、考え、準備・練習の取り組み姿勢などを評価する。（計30点）
					②		✓	
					③		✓	
					④		✓	
					⑤		✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		60	①		・中間発表（10点） ・授業内発表①（10点） ・授業内発表②（10点） ・最終発表（30点）			
			②					
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	(主体性) ・自ら計画して準備や練習を行うことができる。 (働きかけ力) ・グループにおける自身の役割を自覚し、他者に対して積極的に助言や呼びかけを行うことができる。 (実行力) ・目標を達成するために、計画に沿って確実に行動することができる。 (課題発見力) ・自身の、またグループ全体の現状を的確に把握し、課題を明らかにすることができる。 (創造力) ・グループ全員で思いやイメージを共有し、それが相手に伝わるように表現の工夫をすることができる。 (発信力) ・知識・技術を活用し、相手に向けて表現することができる。 (傾聴力) ・他者の多様な表現を受け止め、認めることができる。 (状況把握力) ・コミュニケーションを密に取り合いグループ全体の状況把握をしながら、全員で協力し合える環境づくりに努めることができる。 (規律性) ・設けた期限を必ず守ることができる。			
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
レポート、中間、成果発表等を合わせて90点以上取得した場合に、S(秀)とする。 レポート、中間、成果発表等を合わせて80点以上（90点未満）取得した場合に、A(優)とする。	レポート、中間、成果発表等を合わせて70点以上（80点未満）取得した場合に、B(良)とする。 レポート、中間、成果発表等を合わせて60点以上（70点未満）取得した上で、中間発表、リハーサル、発表を含む授業の出席状況、課題の提出状況をふまえ、授業内での取り組みに積極的に参加する姿勢が見られた場合にはC(可)とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	<オリエンテーション> ・保育内容「表現」領域についての講義 ・身体を使ったコミュニケーションワーク	講義・演習・グループワーク	・受講のルールを理解することができる。 ・本授業の振り返りを提出することができる。	予習：保育内容「表現」領域について調べてくる。 復習：学んだことを振り返り、ワークシートにまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
2	<身体的表現について> ・幼稚園教育要領 領域「表現」を理解 ・保育現場における表現あそび	講義・演習・ディスカッション	・領域「表現」のねらいについて理解することができる。 ・本授業の振り返りを提出することができる。	予習：幼稚園教育要領 領域「表現」のねらいと内容を読み、理解を深める。 復習：学んだことを振り返り、ノートにまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
3	<身体的表現①> ・リズムから生まれる表現(幼児曲、童謡) ・リズムダンス素材集の活用	演習・ディスカッション	・本授業の振り返りを提出することができる。	予習：表現するリズム(音楽)に興味を持ち、事前にリズム、パート分けを確認しておく。 復習：学んだことを振り返り、ノートにまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
4	<身体的表現②> ・イメージから生まれる表現 ・場面設定「お話の世界」を想定した発表	演習・ディスカッション	・計画にそって準備・練習を進めることができる。 ・本授業の振り返りを提出することができる。	予習：表現するリズム(音楽)に興味を持ち、事前にリズム、パート分け、振付を確認しておく。 復習：学んだことを振り返り、ノートにまとめる。自身の表現の確認を繰り返し行い、改善する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
5	<身体的表現③> ・ものを使った表現(新聞紙、布等) ・場面設定「お話の世界」を想定した発表	演習・ディスカッション	・計画にそって準備・練習を進めることができる。 ・本授業の振り返りを提出することができる。	予習：表現するリズム(音楽)に興味を持ち、事前にリズム、パート分け、振付を確認しておく。 復習：学んだことを振り返り、ノートにまとめる。自身の表現の確認を繰り返し行い、改善する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
6	<身体的表現④> ・動きから生まれる表現(12の自然運動) ・場面設定「お話の世界」を想定した発表	演習・ディスカッション	・計画にそって準備・練習を進めることができる。 ・本授業の振り返りを提出することができる。	予習：表現するリズム(音楽)に興味を持ち、事前にリズム、パート分け、振付を確認しておく。 復習：学んだことを振り返り、ノートにまとめる。自身の表現の確認を繰り返し行い、改善する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
7	<身体的表現④まとめ> ・リズム、即興、表現を統合した身体的表現 ・場面設定「お話の世界」を想定した発表	講義・演習・ディスカッション	・計画にそって準備・練習を進めることができる。 ・本授業の振り返りを提出することができる。	予習：準備・練習に必要な物を揃え、動きや台詞を把握してくる。 復習：学んだことを振り返り、ノートにまとめる。自身の表現の確認を繰り返し行い、改善する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
8	<総合的表現「劇あそび」導入> ・演目を選定し、劇あそびの計画を立案する。 ・計画を立て、発表に向けて見通しを持ち、役割分担を考える。	演習・ディスカッション	・計画にそって準備・練習を進めることができる。 ・本授業の振り返りを提出することができる。	予習：準備・練習に必要な物を揃え、脚本の準備を進める。 復習：学んだことを振り返り、ノートにまとめる。自身の表現の確認を繰り返し行い、改善する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	＜言語的表現①セリフと身振り＞ ・立ち稽古 ・表現内容を工夫し、場面を構築するためのグループ活動 ・課題解決に向けた準備・練習の計画（グループで共有）	演習・ディスカッション	・課題を明確にし、解決のための計画を立てることができる。 ・レポートを提出することができる。	予習：準備・練習に必要な物を揃え、動きや台詞を把握してくる。 復習：学んだことを振り返り、ノートにまとめる。自身の表現の確認を繰り返し行い、改善する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
10	＜言語的表現②演出及びナレーション＞ ・グループで立ち稽古 ・表現内容を工夫し、場面を構築するためのグループ活動 ・課題解決に向けた準備・練習の計画（グループで共有）	演習・ディスカッション	・準備・練習における課題を明確にし、解決のために仲間と意見を交え、計画を立てることができる。 ・本授業の振り返りを提出することができる。	予習：準備・練習に必要な物を揃え、動きや台詞を把握してくる。 復習：学んだことを振り返り、ノートにまとめる。自身の表現の確認を繰り返し行い、改善する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
11	＜総合的表現「劇あそび」まとめ＞ ・簡易的衣装や、小道具などの制作 ・課題を解決するための準備・練習 ・創作内容を決定し、表現発表に向けた計画案を作成	演習・ディスカッション	・準備・練習における課題を明確にし、解決のために具体的に改善することができる。 ・本授業の振り返りを提出することができる。	予習：準備・練習に必要な物を揃え、動きや台詞を把握してくる。 復習：学んだことを振り返り、ノートにまとめる。自身の表現の確認を繰り返し行い、改善する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
12	＜グループ発表に向けてのリハーサル①＞ ・発表に向けたリハーサルの実施 ・現状の把握と課題の明確化（グループで共有） ・課題解決に向けた準備・練習の計画（グループで共有）	演習・ディスカッション	・リハーサル①における課題を明確にし、解決に向けて仲間と意見を交えることができる。 ・本授業の振り返りを提出することができる。	予習：準備・練習に必要な物を揃え、動きや表現を把握してくる。 復習：学んだことを振り返り、ノートにまとめる。自身の表現の確認を繰り返し行い、改善する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
13	＜グループ発表に向けてのリハーサル②＞ ・発表に向けたリハーサルの実施 ・課題を解決するための準備・練習（必要に応じて動画を視聴）	演習・ディスカッション	・リハーサル②における課題を明確にし、解決のために具体的に改善することができる。 ・本授業の振り返りを提出することができる。	予習：準備・練習に必要な物を揃え、動きや台詞を把握してくる。 復習：学んだことを振り返り、ノートにまとめる。自身の表現の確認を繰り返し行い、改善する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
14	＜グループ発表＞ ・グループ発表、動画撮影 ・他者の表現の鑑賞	演習・ディスカッション	・前回のグループワークでの発表準備を終えて得た知見や課題を明確にし、解決に向けて仲間と意見を交えることができる。 ・本授業の振り返りを提出することができる。	予習：準備・練習に必要な物を揃え、動きや表現内容を把握してくる。 復習：学んだことを振り返り、ノートにまとめる。自身の表現の確認を繰り返し行い、改善する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
15	＜まとめ＞ ・授業の振り返り ・保育者に必要な「豊かな表現力」について	遠隔課題（動画視聴後、レポート課題取り組む）	・保育現場における演劇や、保育者の表現についての学びを振り返り、今後の課題を見つけることができる。 ・本授業の振り返りを提出することができる。	予習：活動を振り返り、学びを整理しておく。 復習：学んだことを振り返り、レポートとしてまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力